

牛群改良加速化支援事業実施要領

新潟県農林水産部畜産課

第1 趣旨

本事業は、県内消費量に見合う生乳生産量を確保するため、ゲノミック検査を活用した後継牛の育成を支援し、牛群の高能力化の加速を図ることを目的とし、事業の実施については、新潟県補助金等交付規則及び新潟県畜産関係補助金交付要綱（以下、「補助金交付要綱」という。）に定めるもののほか、この要領の定めるところによる。

第2 実施基準

事業の実施基準は、別表1のとおりとする。

第3 事業実施計画の申請等

事業主体の長は、事業実施計画認定申請書（様式1号）及び事業実施計画書（別記様式）を作成し、知事に提出し、事業認定を受けるものとする。

第4 事業の実施

1 事業実施計画に基づく実施

事業は、第3の規定により認定された事業実施計画に基づき実施するものとする。

2 事業実施計画の変更

事業主体の長は、補助金交付要綱第6で規定する軽微な変更以外の変更をするときは、変更内容を記した事業実施計画書（別記様式）を作成し、補助金交付要綱第5の事業計画変更承認申請書と併せて知事に提出するものとする。

3 事業認定前着手

事業の着手は、原則として当該事業実施計画の認定後とする。ただし、早期着手を必要とする場合は、認定前着手届（様式2号）に事業実施計画書を添えて、畜産課長に提出した上で着手するものとする。

この場合において対象事業として認定されないときは自力事業とする。なお、重要な変更についても、同様の取り扱いとする。

4 事業実施実績報告

事業主体の長は、事業が完了したときは事業実施実績書（別記様式）を作成し、補助金交付要綱に基づく実績報告と併せて知事に提出するものとする。

5 関係書類の整備

事業主体の長は、事業箇所ごとに関係書類及び簿冊を整え、処理の経過を明らかにしておくものとする。

第5 指導推進体制

1 県は、事業実施計画の作成、事業の実施及び事業実施後の効果発現

について指導助言にあたるものとする。

- 2 事業主体は、県の指導の下、事業の目的や内容等の周知徹底に努めるとともに、関係団体との連携を図り、この事業の円滑な推進を図るものとする。

第6 事務取扱等

事業実施に当たり、事業主体が提出する書類の種類等は、別表2によるものとする。

第7 助成

県は、予算の範囲内において事業の実施に要する経費に対して助成を行うものとし、補助率等は、補助金交付要綱によるものとする。

第8 報告

県は、必要に応じて事業実施後の効果等について、事業主体に対し報告を求めることができる。

第9 その他

この要領に定めるもののほか、事業実施に関し必要な事項は、別に定める。

附則

この要領は、令和8年4月30日から施行し、令和8年4月1日から適用する。

別表 1

牛群改良加速化支援事業 実施基準

事業名	目的	内容	事業主体
牛群改良加速化支援事業	県内消費量に見合う生乳生産量を確保するため、ゲノミック検査を活用した後継牛の育成を支援し、牛群の高能力化の加速を図る。	1 頭当たりの乳量を増加させ生産性の向上を図るため、以下のア、イウ、エの取組を支援する。 ア ゲノミック検査を活用した後継牛の自家育成の取組に対する奨励金の交付に要する経費の補助 イ ゲノミック検査に要する経費の補助 ウ ゲノミック検査の検体採取用機器の購入経費の補助 エ ゲノミック検査の普及のための研修会開催経費の補助	新潟県酪農業協同組合連合会

事業期間	採択事業（実施基準）
1年	<p>1 事業対象者</p> <p>(1)ア、イの事業対象者は、新潟県内で酪農を営む農家（以下、酪農家）とする。</p> <p>(2)ウの事業対象者は、酪農家、酪農家等の組織する団体、農業協同組合、農業協同組合連合会とする。</p> <p>(3)エは事業主体が実施するものとする。</p> <p>(4)事業主体及び事業対象者は、「新潟県が行う事務及び事業からの暴力排除に関する要綱」（平成23年8月1日制定）に定める排除対象者に該当しない者とし、採択後に判明した場合は、その時点で採択を取り消すこととする。</p> <p>2 補助要件</p> <p>(1)アの交付対象牛は、以下の全ての要件を満たす乳用種の雌牛とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イのゲノミック検査を実施していること。 ・自らの経営で搾乳牛として飼養する予定であること。 ・事業実施年度の2月1日に、牛個体識別番号情報により申込者の繋養牛となっている牛、又は申込者が育成牧場等に預託等を行っていることが確認できる牛であること。 <p>(2)イの交付対象牛は、以下の全ての要件を満たす乳用種の雌牛とし、補助対象とする検査は1頭につき1回までとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施年度の4月1日から2月1日までに、有料のゲノミック検査（検査機関は国内外を問わない）の申込を行い、当該検査を実施していること。 ・ゲノミック検査申込時点で17か月齢未満であること。 <p>3 補助率</p> <p>(1)アの補助率は、40千円以内/頭とする。</p> <p>(2)イの補助率は、4千円以内/頭とする。</p> <p>(3)ウの補助率は、1/2以内とし、検体採取機器1台あたりの補助上限を16千円とする。</p> <p>(4)エの補助率は、1/2以内とし、研修会1回あたりの補助上限を50千円とする。</p>

別表 2

書類の提出先・提出部数及び事務処理系統

提出する書類	提出部数	事務処理系統 (必要部数)
事業実施計画認定申請書（様式 1 号） 【添付書類】事業実施計画書（別記様式）	1	→畜産課（1）
認定前着手届（様式 2 号）	1	→畜産課（1）
事業実施実績書（別記様式：補助金交付要綱に基づく実績報告時に提出）	1	→畜産課（1）

様式1号（事業実施計画認定申請書）

番 号
令和 年 月 日

新潟県知事 様

事業主体名
代表者職氏名

牛群改良加速化支援事業実施計画認定申請書

牛群改良加速化支援事業実施要領（令和 年 月 日付け畜第 号）第3に基づき、関係書類を添えて申請します。

※添付書類：事業実施計画書（別記様式）

【誓約書】（□にレ点チェックをして誓約すること。）

- 私は暴力団又は暴力団員ではありません。
また、これらの者と社会的に非難されるような関係はありません。

様式2号（認定前着手届）

番 号
令和 年 月 日

畜産課長様

事業主体名
代表者職氏名

牛群改良加速化支援事業認定前着手届

牛群改良加速化支援事業を認定前に着手したいので、対象事業として認定されない場合は自力事業とすることを了承の上、届出します。

1 認定前着手しようとする事業

事業名	
事業目的	
内容	
着手年月日	
完了年月日	
事業量	
事業費	

2 認定前着手の理由

3 添付書類：事業実施計画書（別記様式）

別記様式

牛群改良加速化支援事業実施計画（実績）書

事業主体							
所在地							
事業計画（実績）	事業目的						
	項目	計画			実績		
	事業対象者数	戸			戸		
	ア ゲノミック検査を活用した後継牛の自家育成の取組	頭数	補助額		頭数	補助額	
		頭	円	円	頭	円	円
	イ ゲノミック検査	頭数	補助額		頭数	補助額	
		頭	円	円	頭	円	円
	ウ ゲノミック検査の検体採取用機器の購入	件数	事業費		件数	事業費	
		件	円	円	件	円	円
		補助額	消費税等仕入控除額		補助額	消費税等仕入控除額	
		円	円	円	円	円	円
	エ ゲノミック検査の普及のための研修会開催	回数	事業費		回数	事業費	
		回	円	円	回	円	円
		補助額	消費税等仕入控除額		補助額	消費税等仕入控除額	
		円	円	円	円	円	円
	備考（開催計画案）			備考（実施状況）			
	補助額合計	円				円	
	ゲノミック検査の活用促進の方策（関係機関との支援体制）						
添付資料	(計画時) <input type="checkbox"/> 事業参加申込書（別記様式の添付資料1） <input type="checkbox"/> 検体採取用機器購入の事業計画（別記様式の添付資料2） (実績時) <input type="checkbox"/> 事業実績報告書（別記様式の添付資料1、及び添付資料1の別添1:交付対象牛リスト、別添2:担当JAの確認書） <input type="checkbox"/> 検体採取用機器購入の事業実績報告書（別記様式の添付資料2、及び添付資料2の別添1:担当JAの確認書）						

※ 添付した資料の□にレ点チェック

牛群改良加速化支援事業参加申込書（事業実績報告書）

令和 年 月 日

新潟県酪農業協同組合連合会代表理事会長 様

住所 _____

氏名（自書） _____

（法人の場合は、法人名及び代表者氏名）

（計画時）

本事業に参加したいので、事業の趣旨を理解の上、下記のとおり申し込みます。

事業参加に際しては、計画及び実績確認に必要な関係書類を保存するとともに、牛の個体識別番号情報の提供に同意し、事業主体等が行う確認作業に協力します。

また、本事業で検査したゲノミック検査結果を事業主体、出荷農業協同組合、県が生産性向上等のための酪農家支援に利用することに同意します。

（実績時）

本事業に参加し、ゲノミック検査を活用した後継牛の自家育成に取り組みましたので、その実績を下記のとおり報告します。

記

1 事業計画（実績）

(1)ゲノミック検査を実施し、後継牛として自家育成する頭数

交付対象頭数(※1)
頭

※1 対象牛は、1(2)で検査を実施した牛であって、かつ、事業実施年度の2月1日に、牛の個体識別番号情報により申込者の繋養牛となっている牛、又は申込者が育成牧場等に預託等を行っていることが確認できる牛とする。

(2)ゲノミック検査

検査頭数(※2)	家畜改良事業団による検査		事業費
	うち	うち	
頭	頭	頭	円

※2 対象牛は、事業実施年度の4月1日から2月1日までに、ゲノミック検査（検査機関は国内外を問わない）の申込を実施し、申込時点で17か月齢未満であること。

2 添付資料（実績報告時）※添付した資料の□にレ点チェック

- 添付資料 1 別添 1：交付対象牛リスト（個体識別番号が記載されたもの）
- ゲノミック検査申込書の写し
- ゲノミック検査結果の写し（実績報告時に検査結果が届いている場合）
- 育成牧場等に預託等を行っていることが確認できる書類の写し（該当者のみ）

【誓約書】（誓約する場合は、□にレ点チェック）

- 私は本事業要領に基づき事業実施するとともに、事業完了後も要領に定める事項を遵守します。
- 私は1(1)で申請した牛を育成し、自らの経営において搾乳牛として飼養します。
- 私は暴力団又は暴力団員ではありません。
また、これらの者と社会的に非難されるような関係はありません。

【個人情報の取扱について】（同意する場合は、□にレ点チェック）

- 申請書に記載した個人情報について、本事業の実施のために事業主体及び県が市町村、関係機関・団体等への問合せ等に使用することについて同意します。

※□にレ点チェックがない場合は補助の対象となりません。

牛群改良加速化支援事業の交付対象牛リスト

事業対象者名：

(法人の場合は、法人名及び代表者氏名)

No.	個 体 識 別 番 号										生年月日	検査申込 年月日	検査申込 時月齢	取組内容(※1)	
	1	1	1	1	1	2	2	2	2	3				後継牛として 自家育成(※2)	ゲノミック検査
記入例	1	1	1	1	1	2	2	2	2	3	2026/1/1	2026/6/10	5.3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
1														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
17														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
18														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
19														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
20														<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※1 該当する取組の□にレ点チェック

※2 ゲノミック検査の取組にもレ点がないと自家育成の取組対象となりません

牛群改良加速化支援事業の確認書

No.	事業対象者	取組内容						計
		ゲノミック検査			後継牛として自家育成		補助金合計 (①+②)	
	検査頭数 (頭)	事業団の 検査数	事業団 以外の 検査数	事業費 (円)	補助金 (円)①	交付対象頭 数(頭)		補助金(円) ②
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
	計							

【JA等確認欄】

上記の事業対象者が事業の補助要件に合致する取組を実施したことを確認しました。

年 月 日

確認担当者 所属・氏名： JA□□ ○○ △△

別記様式の添付資料 2

牛群改良加速化支援事業計画（事業実績報告書）：検体採取用機器の購入

令和 年 月 日

新潟県酪農業協同組合連合会代表理事会長 様

住所

氏名（自書）

（法人等の場合は、法人名等及び代表者氏名）

（計画時）

本事業に参加したいので、事業の趣旨を理解の上、下記のとおり申し込みます。

事業参加に際しては、計画及び実績確認に必要な関係書類を保存するとともに、事業主体等が行う確認作業に協力します。

（実績時）

本事業に参加し、検体採取用機器を購入しましたので、その実績を下記のとおり報告します。

記

1 事業内容

購入機器名	事業費	うち消費税額
	円	円

利用計画（実績）

（年間の利用回数等を記載）

2 添付資料 ※添付した資料の□にレ点チェック

（計画時）

- 購入予定額の分かる資料の写し（購入予定機器の見積書又はカタログ等）
- 酪農家等が組織する団体が事業対象者の場合：
規約（定款）の写し、構成員名簿、事業実施の合意が確認できる書類（議事録等）
- 消費税の納税対応状況表（新潟県畜産関係補助金交付要綱第1号様式別表）

（実績報告時）

- 支払い関係書類の写し（納品書、請求書、領収書等）
- 消費税の納税対応状況表（新潟県畜産関係補助金交付要綱第1号様式別表）

【誓約書】（誓約する場合は、□にレ点チェック）

- 私は本事業要領に基づき事業実施するとともに、事業完了後も要領に定める事項を遵守します。
- 私は暴力団又は暴力団員ではありません。
また、これらの者と社会的に非難されるような関係はありません。

【個人情報の取扱について】（同意する場合は、□にレ点チェック）

- 申請書に記載した個人情報について、本事業の実施のために事業主体及び県が市町村、関係機関・団体等への問合せ等を使用することについて同意します。

※□にレ点チェックがない場合は補助の対象となりません。

牛群改良加速化支援事業（検体採取機器の購入）の確認書

事業対象者名		
機器名		
メーカー名		
販売業者名 (住所・連絡先)		
納入年月日		
取得価格	円	うち消費税 円
設置場所		
※ 以下の項目を確認してチェック <input type="checkbox"/> 申込時内容と相違ないか <input type="checkbox"/> 新品であるか <input type="checkbox"/> 支払関係の書類が添付されているか		
備考		

【JA等確認欄】

上記の事業対象者が事業の補助要件に合致する取組を実施したことを確認しました。

年 月 日

確認担当者 所属・氏名：

J A □ □ ○ ○ △ △